

1. 科目名 (単位数)	経営学 (非営利組織の経営含む) (2 単位)	3. 科目番号	SBMP1119
2. 授業担当教員	埜本 一雄		
4. 授業形態	講義、グループワーク、グループディスカッション	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	経営戦略論、マーケティング論、福祉と経営などに発展していく重要な基礎科目です。		
7. 講義概要	本講義では、企業の活動における基礎的な諸概念、経営学用語、原理などの初歩を体系的に学ぶことによって、経営学の基本を身につけることを目的としている。そのために、経営学の学問的な性質、企業・経営の概念、経営管理、企業経営の内容、現代の経営学の役割など、各理論の概要の初歩を説明する。講義が抽象的にならないように、なるべく具体例を用いながら講義を進め、理論と実例の両側面から説明を展開していく。また、グループワークやグループディスカッションを通じて、受講者の主体的な参加によって、理解向上をはかる。		
8. 学習目標	1. 企業経営に関する基礎的知識を習得し、説明できるようになる。 2. 経営各分野について基礎的知識を習得し、専門科目履修時の理解力を向上させる。 3. 現代企業や団体の経営課題を把握し、課題解決の取り組み方法を選択できるようになる。		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	毎回出される課題について自分の意見をまとめて考えて、発表していただきます。中間まとめの後と総まとめの前に、それまでの学習内容を受けて、理解を確認する目的も持つ課題レポートを提出していただきます。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】指定せず、プリント教材を用います。 【参考書】ピーター・F・ドラッカー著・上田惇生訳『マネジメント[エッセンシャル版]-基本と原則』ダイヤモンド社、2001年。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. レポートや論文の書き方に関する基礎的、基本的事項を理解し、説明できるか。 2. 経営学的な思考が身についたか。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、期末試験、レポート等を総合して評価する。] 1 授業への積極的参加 総合点の20% 2 期末試験 総合点の50% 3 課題レポート 総合点の30%		
12. 受講生へのメッセージ	社会福祉組織や営利企業などにおいて、それを経営する立場になる場合にも、組織の一員として働く場合にも、必要となる基礎知識を幅広く学ぶ科目です。教員のリアルビジネスの世界での30年の経験もふまえて、具体的な企業活動を描くビデオ視聴の機会をできるだけ持ちつつ、分かりやすい授業を心がけます。間違いなく将来の現場で役に立つ原理原則を学ぶことができますので、一歩ずつ理解を深めてください。		
13. オフィスアワー	授業中に指示します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	企業とビジネス	事前学習	シラバスの内容を基に、学習内容の全体像をあらかじめ理解しておく。
		事後学習	学習内容を身近な企業の活動に当てはめて理解を現実的にする(教材pp.9-17)。
第2回	企業の目的・成果と会社制度	事前学習	身近な企業の目的や成果とは何かを考察してみる。
		事後学習	著名企業のHPを見て、その目的や目指している成果、採用している会社制度についてまとめる(教材pp.5-11)。
第3回	経営戦略	事前学習	著名企業がどのような経営戦略を採用しているのか、調べてみる。
		事後学習	著名企業の経営戦略について、HPを見て学習内容を当てはめて理解を現実的にする(教材pp.4-14)。
第4回	経営組織	事前学習	興味ある企業の経営組織について、調べてみる。
		事後学習	その企業が採用している経営組織とその理由について、学習内容を当てはめて理解を深める(教材pp.4-14)。
第5回	マーケティング	事前学習	一般企業がマーケティングをどのように実行しているのか、調べてみる。
		事後学習	興味ある企業のマーケティング活動について、学習内容を当てはめて理解を深める(教材pp.5-13)。
第6回	人的資源	事前学習	身近な企業の従業員がどのような働き方をしているのか、考察する。
		事後学習	その企業の従業員の働き方に、学習内容を当

			てはめて理解を深める (教材 pp.5-15) 。
--	--	--	-----------------------------

第7回	企業組織内外の活動 中間まとめ	事前学習	ここまでの学習内容をレビューして、理解が不十分な部分について、教員に質問できるようにしておく。
		事後学習	理解が不十分だと考えた部分について、よく復習し理解を深める。教員が与える課題に関する中間課題レポートを作成して、次回授業時、提出する(教材 pp.6-18)。
第8回	財務	事前学習	企業にとって、お金が持つ重要性を考えてみる。
		事後学習	著名企業のHPで投資家情報を見て、学習した内容がどのように説明されているのか、確認する(教材 pp.2-13)。
第9回	企業統治	事前学習	最近の企業の不祥事について、調べてみる。
		事後学習	学習内容を基に、実際の企業不祥事について何があったのか、何が理由だったのか、防ぐには何が必要なのか調べて理解を深める(教材 pp.4-15)。
第10回	グループ経営	事前学習	わが国の著名な企業グループには、どんなところがあるのか、調べてみる。
		事後学習	著名企業グループについて、学習内容を当てはめて理解を現実的にする(教材 pp.5-16)。
第11回	グローバル経営	事前学習	わが国で活躍する著名外資系企業にはどんなところがあるのか、調べてみる。
		事後学習	わが国企業がグローバル化する必要性をふまえて、今後活躍する企業にはどんな強みがあるべきか、考察しまとめる(教材 pp.5-15)。
第12回	ベンチャー	事前学習	今注目されているベンチャー企業はどんなところか、調べてみる。
		事後学習	ベンチャー企業から大企業に発展した企業(ソフトバンクや楽天など)がなぜ成功したのか、学習内容をふまえてまとめる(教材 pp.5-14)。
第13回	企業経営とIT	事前学習	企業においてITそしてAIがどのように活用されているのか、調べてみる。
		事後学習	ITやAIをうまく活用している企業について、学習内容を当てはめて理解を深める(教材 pp.5-16)。
第14回	経営倫理	事前学習	社会的な貢献活動に積極的な企業はどこか、調べてみる。
		事後学習	組織の真の社会貢献は何なのか、学習内容を著名企業の活動に当てはめて理解を深める。教員が与える課題に関する期末課題レポートを作成して、次回授業時、提出する(教材 pp.5-12)。
第15回	経営学とは何か 総まとめ	事前学習	ここまでの学習内容をレビューして、理解が不十分であった部分を抽出し教員に質問できるようにする。
		事後学習	期末試験に向けたレビューの予定を立て、実行する(教材 pp.5-19)。
期末試験			